

1号議案 平成26年度活動報告

理事長総括 (小川理事長)

昨年20周年を祝い、新たな気持ちでNEWふくてっくをスタートさせた26年度も無事に1年間活動することができました。

活動内容としては例年と大きく変わりませんが、「東大阪部」、「こむねっと部」、「つどい」は主活動に関連した多様な試みを始めています。

各部が活発に活動し続けることが大切であり、それぞれがふくてっくの「顔(看板)」であり、会の中心はやはり元気な部活動にあります。

対外的には、何をしているNPOなのか?どんな事がお願いできるのか?…。個々には、このNPOで何か出来るだろうか?自分は何か協力出来るだろうか?…と、いろいろな「?」に明解な回答を発信するうえでも実践活動は有効な広告となります。

26年度にまいた種(新企画)にみんなで水(協力)をやり、肥料(知恵)を加え、元気に芽(活動)が出て実(継続)となるまでふくてっくは地道に活動を続けていきます。

事務局報告 (中北事務局長)

◆定例会

開催日	学習会テーマ	学習会講師	その他
H26.7.5	自立支援センター「ばあと なあ」新事業所にて学習 会・交流会	ばあとなあスタッフ・利用 者	・全国グループホーム等研修会 近畿地区大会に参加
H26.8.2	第13回定期総会開催 ふくてっく発足20周年記 念パーティー開催 (太陽のカフェ)		・20周年パーティーのおみやげ に「すべらんうどん」を用意
H26.9.6	シニアおひとりさまの終活	殿村美知子氏 NIS第3の人生 代表	
H26.10.4	船場地区の活性化と市民活 動	谷口康彦氏 元URサポート都市再生業 務本部 都市再生企画部長	・住まい情報センター主催のタ イアップ祭りに参加 ・「なんばおにごっこ」に参加
H26.11.1	65才を過ぎてからの健康管 理	福井宏有氏 福井整形外科院長	・障がい者施設見学 青おに・ユイ ・チャリティーマラソン「サン タラン」に有志が参加
H26.12.6	障がい者福祉の30年。これ までとこれから	石田義典氏 NPOちゅうぶ 事務局長	・会誌87号を発刊
H27.1.10	親睦会(学習会はなし)		・ハートフル大東見学
H27.2.7	障がい者就労事業の支援	小川知也氏 日本ボトラーズ	・COMVO ネットミニ交流会に 参加。テーマ「広報」
H27.3.7	メガネの上手なあわせ方・ 買い方～発達期の子どもか ら老人まで～	内海隆氏 眼科医師	・親睦会でカニパーティー開催 ・こうべユニバーサルデザイン フェアに「すべらんうどん」 が出店され、有志が参加
H27.4.4	ビフォー・アフターあれこ れ「甲子園の家」	中北幸氏 建築家	
H27.5.9	HUG:避難所運営ゲームの 体験	脇坂博史氏 大阪市ボラン ティア・市民活動センター	・共生・共走りレーマラソンに 有志が参加
H27.6.6	「ボランティアセンター支援機構お おさか」講演会に参加	原田正樹教授 上野谷加代子理事長	・会誌88号を発刊 ・映画「標的の村」を鑑賞
H27.7.4	今からでも遅くない 相続税対策	秋岡 安会員	留学生参加

◆総会記録

開催日時	場所	議事
第 13 回 定期総会 H26.8.2 13：30～15：20	大阪市立社会福祉 センター 3 階会議 室 正会員総数 37 名 出席 24 名（うち委任 状出席 4 名）	・ H25 年度活動報告・同決算 承認 ・ H26 年度活動計画・同予算 承認

■理事会・運営会議記録

開催内容、日時	場所	議事
理事会 H26.8.2 11：30～12：00	大阪市立社会福祉 センター 3 階会議 室	・ H25 年度活動、決算報告 ・ H26 年度活動、予算計画 ・ 設立 20 周年記念事業内容説明
理事会 H27.6.6 10：00～11：50	大阪市立社会福祉 センター 3 階会議 室	・ 理事、幹事の改選について ・ H27 年度活動の展望について ・ 総会にむけて
運営会議 H26.7.19 13：15～15：10	大阪市立社会福祉 センター 3 階会議室	・ 各事業、部会活動報告 ・ 本会 H25 年度決算報告、H26 年度予算計画 ・ 設立 20 周年記念事業内容説明

■その他活動

○H27.3.1 カニパーティ



○H27.3.25 すべらんうどんと「しあわせの村」



○ふくてつく新聞 88 号発刊 連載「ある日のお客様との会話」（秋岡会員）は 10 話を重ねる。

1. ふくてっくのつどい (小川会員)

ものづくり活動 平成 26 年度事業報告 (H26/7/1~H27/6/30)			
A : 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	34 回池島ふれあいまつり	11/23	・木工工具の体験と自由な発想による工作体験 ・からくり工作 ・丸太切り体験 ・木工の楽しさを伝える
	社会福祉法人海の子の家 池島公園		工具を使い(見守り)自由工作として子供達は貴重な体験ができた。男子は丸太切りで思う存分身体を動かし、女子はペンダントや壁掛けなどで思い出に残る木とのふれあいができた。以上より、目的とする「木工の楽しさ」を伝える事は実施できた。(会員参加 13 名、材料提供あり)
2	共生・共走リレーマツク (子供体験コーナー)	5/31	・自然木を使った工作 ・障がい児も自由工作にふれあう
	マツサク 花博鶴見緑地公園		多種多様なパーツを準備し、簡単な工作(貼り合わせ程度)にする事で小さな子供から、障がいをもった子供まで多くの参加があり、ふれあう機会は作れた。(会員参加 11 名、材料提供あり)

B : 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	つどい協議	8/23	つどい次年度活動計画についての協議
	8 名 関西照明器具工業協同組合		「ものづくり」「たいけん」「ものしり」活動と大きく 3 タイプに分けてわかり易い、誰もが参加できる活動を目指すことを確認する。
2	つどい協議	11/1	池島まつりの取組み確認
	8 名 大阪市立社会福祉センター		池島まつり参加に伴う取組準備と進行を確認。新たな進行について意見を交わし、試みることにする。
3	木工材料調達(里山)	11/3	池島まつりの活動材料の調達
	7 名 生駒いいもり山		木工活動に必要な木材料を調達する。
4	つどい協議&反省会	1/24	池島まつりでの活動ふり返りと反省を協議
	12 名 ボランティア市民活動センター		活動の振り返りから反省すべき点や更にスムーズに進めるべき進行方法など、次回活動へ向けての心構えを確認する。
5	つどい協議	3/7	これからの活動内容について
	11 名 ボランティア市民活動センター		ものづくり：新規活動場所として、障がい者手作り体験や病院内学級での工作活動の取組内容の確認。 たいけん：里山サンプル作りと、農業体験実施について確認。 ものしり：パソコン教室の活動卒業の確認。新たに「住生活よもやま話」を始める事の確認。
6	木工サンプル作成(里山)	3/21	木工活動でのサンプル作成
	7 名 生駒いいもり山		今後の木工教室の為に多様なサンプルを作成する。

7	つどい協議 11名 ホフテア市民活動センター	3/28	「よもやま話」と「サンプル作り」 ・住宅改修の注意点など現場目線での発表機会の創設検討。 ・新たな活動である病院内での活動用のサンプル作成をする。
	木工材料調達（里山） 3名 生駒いいもり山		病院内活動に必要な材料調達 様々なサイズと形の材料を調達する。
9	木工材料加工 11名 有馬工房	5/2	木片加工作業とサンプル作り サンプル作成と材料ペーパーかけを行い活動準備ができた。
	木工材料調達（里山） 3名 生駒いいもり山		病院活動に必要な材料調達 様々なサイズと形の材料を調達する。
11	病院木工材料加工 11名 ふくてっく ATC 事務所	6/27	木片加工作業と材料袋詰め ペーパーかけと子供達一人ひとりへの材料支給のための袋詰め作業を終え準備完了となる。

ものづくり活動 平成 26 年度収益費用報告 (H26/7/1～H27/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
A-1	池島ふれあいまつり (自由木工)	25,000	17,597	7,403
A-1	池島ふれあいまつり (からくり工作)	2,000	7,308	△5,308
A-2	共生・共走リレーマラソン (子供体験コーナー)	0	4,111	△4,111
B-7	つどい協議	0	2,000	△2,000
B-11	病院木工材料加工 (活目、フェルト購入)	0	874	△874
合計		27,000	31,890	△4,890

たいけん活動 H26 年度活動報告 (H26/7/1～H27/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名 参加人数 場所	日付 期間	活動目的・内容等
			成果
1	収穫体験（種まき） 6名 泉ヶ丘（林田ファーム）	11/24	会員間交流（玉ねぎ種まき） 参加者が協力し、畝（うね）作りから種まきまで農業の真似事で汗を流し、昼食では鍋を囲み交流がはかれた。
	収穫体験（野菜狩り） 4名 泉ヶ丘（林田ファーム）		会員間交流（玉ねぎ収穫） 玉ねぎ収穫から、土起こしまで一連の作業を体験する。

ものしり活動 平成 26 年度活動報告 (H26/7/1~H27/6/30)

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No.	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
場所			
1	住環境よもやま話	4/4	住宅改修のいろいろな話をする場をつくる。
			実際にあった改修の「よもやま話」を、発表する。



「ありま工房」での作業風景

2. 東大阪部会 (清水会員)

東大阪部会 平成26年度事業・活動報告 (H26/7/1～H27/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	H26年 7/1～ H27年 6/30	高齢者・障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。高齢者・障がい者の在宅生活の継続に寄与する共に、施工業者のスキルアップや地域福祉力の育成に寄与する。検証活動(建築士・セラピスト)・事前相談会・報告書作成・市民啓発資料作成・データ収集等実施
	東大阪市		H26年7/1～H27年3/31 実績 検証実績/高齢者世帯43件・重度身体障がい者世帯13件 セラピスト検証活動26件 事前相談会実績31件 H26年度報告書作成 H27年度しおり改訂版等作成
	東大阪市内		
2	東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業講習会	H27年 ①3/5 18:30～ 20:30 ②3/12 18:30～ 20:30	東大阪市身体障害者関係福祉事業所職員・介護支援専門員等を対象に、東大阪市改造費助成制度に関する理解を深めるための講習会を開催する。 ①本制度の周知を目的とし、グループワークで説明をおこなった。 ②「事業概要書・理由書」の作成の仕方・視点を学ぶことを目的とし、グループワークで事例を使って、作成作業・解説をおこなった。
	東大阪市		参加者：①東大阪市身体障害者関係福祉事業所職員 ②介護支援専門員 ①グループワークで本制度説明を行った後、制度利用の問題点について意見交換をおこなった。 ②住環境整備のために動作検証の重要性、事業概要書作成において何を優先させるかその視点について理解を深めた。
	東大阪市内 18階		
3	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	H26年 7/1～ H27年 6/30	住宅改修の質的向上を第一義とし、副次的に不適切な介護保険適用を抑制する。検証活動・申請書類等作成・事例検討会・データ収集等実施
	東大阪市		H26年4/1～H27年3/31 実績 検証実績/事前審査121件 事後審査95件 H26年度報告書作成 H27年度介護住改手引書改訂版作成
	東大阪市内		
4	東大阪市介護保険住宅改修研修会	H26年 ①8/6、 28 18:30～ 20:30 ②8/21 14:00～ 16:00	東大阪市住宅改修施工事業者・介護支援専門員等を対象に、介護保険住宅改修制度に関する理解を深めるための研修会を、施工事業者登録説明会と同時に開催する。 ①住宅改修計画時の注意点について、事例をもとに説明をおこなった。 ②理由書作成時の注意点について、事例をもとに説明をおこなった。
	東大阪市		参加者：①施工事業者 ②介護支援専門員 ①適切・不適切事例の違いが理解され、不適切事例の減少が期待できる。 ②理由書に求められる要件が理解され、不備な理由書の減少が期待できる。
	東大阪市男女共同参画センター6階 イーコラムホール		
5	尼崎市介護保険住宅改修支援事業	H27年 ①1/22 ②3/12 13:30～ 16:00	健全な制度利用と介護支援専門員の資質向上への支援、行政及び地域包括支援センターとの協働体制の確立。 介護支援専門員のスキルアップ講習会(2回)を体験型グループワークで実施する。 ①浴槽の跨ぎ ②スロープ
	尼崎市		参加者：介護支援専門員 各44名 介護支援専門員に気づきを促すことができ、住宅改修への積極的な関わりが期待できる。
	尼崎市中央公民会 大ホール		

7	大阪府下自治体バリアフリー施策実態調査		活動なし
8	ワンポイントアドバイス冊子発行		H27 年度に延期
9	出前講座		活動なし

東大阪部会 平成 26 年度活動報告 (H26/7/1～H27/6/30)

B : 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
1	定例検討会	H26 年 7 月 ～H27 年 6 月第 3 土曜 日	東大阪活動における情報の共有と促進。課題と対策の検討。共通認識及びスキルの向上。
	検証メンバー全員		12 回開催
	ATC ふくてつく事務局・ 大阪市立社会福祉センター会議室		検証基準や技術手法を共有し、個人ではなくチームで取り組み適切、且つ、迅速な適正検証活動が推進されている。



研修会の様子

H26 年度東大阪検証活動 作業担当

※ 担当日、都合が悪い時は、自ら事前に他のメンバーと交渉し交代する。変更になった場合はメールで全員に連絡する。

	検証記録/ 改造助成・介護住改		改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてっく 定例会発表	その他活動
	原則:木曜 太字は水曜	集積 送信	第1・3・5 木曜	担当	作成 連絡	第3 土曜	議事 進行	記録	担当	
4月	3.10.17.24	鎌田	① 4/3	清水	4/10	4/19	川北	小川	4/5 発表無し	
			② 4/17	鎌田	4/24 山本					
5月	1.8.15.22.29	春岡	③ 5/8	大塚	5/8	5/17	山本	川北	5/10 学習会 担当の為、発 表無し	・5/10 当会学習会発表 「高齢者疑似体験」
			④ 5/22	川北	5/22 小川					
6月	5.12.19.26	川北	⑤ 6/5	小川	6/12	6/21	川北	清水	6/7 川北「東 大阪/帝国シ ネマについて」	
			⑥ 6/19	山本	6/26 川北					
7月	3.10.17.24.31	後藤	⑦ 7/3	川北	7/10	7/19	山本	大塚	7/5 寺岡「簡 単にできる 熱中症対策	・改造助成・介護住改 H25 年度報告書納品 ・7/8 尼崎市と協議「H26 年度の取組について」
			⑧ 7/17	後藤	7/24 小川					
8月	7.14.21.28	曾我部	⑨ 8/7	山本	8/14	8/16	川北	曾我部	8/2 発表無し	・8/7・28 介護住改登録 説明会及び研修会 ・8/20 ケアマネ講習会
			⑩ 8/21	鎌田	8/28 山本					
9月	4.11.18.25	山本	⑪ 9/4	清水	9/11	9/20	山本	大橋	9/6 大橋「東 大阪での古 民家再生」	
			⑫ 9/18	川北	9/25 川北					
10月	2.9.16.23.30	大塚	⑬ 10/2	寺岡	10/9	10/18	—	—	10/4 大塚「東大阪 地名の由来」	10 月部会は「なんばお にごっこ」参加に変更
			⑭ 10/16	小川	10/23 小川					
11月	6.13.20.27	小川	⑮ 11/6	後藤	11/13	11/15	川北	山本	11/1 磯田「東大阪 アラカルト」	
			⑯ 11/20	寺岡	11/27 山本					
12月	4.11.18.25	大橋	⑰ 12/4	曾我部	12/11	12/20	川北	寺岡	12/6 後藤「言葉の 使い方」	
			⑱ 12/18	清水	12/25 川北					
1月	8.15.22.29	清水	⑲ 1/8	山本	1/8	1/17	山本	鎌田	1/10 発表無し	尼崎市体験型研修会 1/19 介護支援専門員 「浴槽の跨ぎ」
			⑳ 1/22	大塚	1/22 小川					
2月	5.12.19.26	寺岡	㉑ 2/5	鎌田	2/12	2/21	川北	磯田	2/7 曾我部 「福島の現状 について」	尼崎市体験型研修会 2/13 介護支援専門員 「スロープ」
			㉒ 2/19	磯田	2/26 山本					
3月	5.12.19.26	磯田	㉓ 3/5	磯田	3/12				3/7 山本 「東大阪市見 守りトライ」	改造助成講習会 3/5 福祉事業所職員 3/12 介護支援専門員
			㉔ 3/19	曾我部	3/26 川北	3/28	山本	後藤		

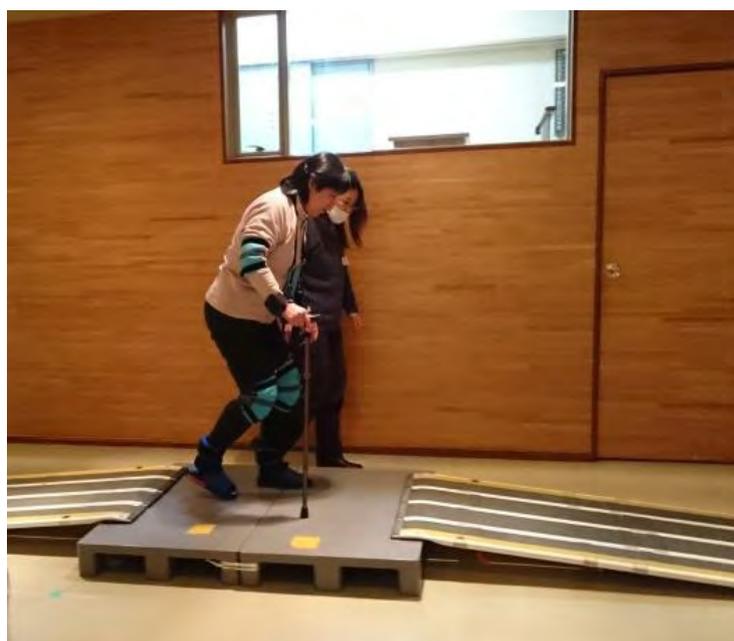
※「事前相談会」太字は会場:西福祉事務所

※「活動予定/作成・連絡」は、上記以外の活動日は清水が担当。

東大阪部会 平成 26 年度収支報告 (H26/7/1~H27/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出	余剰金
A-1 A-2	東大阪市高齢者・重度障害者 住宅改造費助成制度適正検 証事業	3,379,600	諸謝金 4,396,500 印刷製本費 30,703 通信運搬費 436 消耗品費 174,022 旅費交通費 389,880	1,413,213
A-3 A-4	東大阪市介護保険住宅改修 適正検査事業	2,795,840	会議費 11,900 租税公課 4,200	
A-5	尼崎市介護保険住宅改修支 援事業	262,800	支払手数料 16,686 雑費 700	
合計		6,438,240	5,025,027	1,413,213

22.0%



バリア体験研修

3. こむねっと事業部会 (中北会員)

こむねっと事業部会 平成26年度事業・活動報告 (H26/7/1~H27/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動) <i>太字斜体は計画からの変更追加内容</i>			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
	場所		
A1-1	福祉サービス第三者評価	通年	大阪府地域福祉推進審議会および評価機関連絡会
	大阪府庁ほか		評価ガイドラインの大きな改訂が行われたが、連絡会において各評価機関の意見を取りまとめ、大阪府地域福祉審議会の討議に反映させた。
A1-2	福祉サービス第三者評価	H25年9月	奈良県手をつなぐ育成会 第三者評価
	奈良県手をつなぐ育成会	～	H27年1月によく報告書を集約し、5月には主要職員への説明会を実施した。長期に亘る評価活動の間に、受審事業所では、様々な改革が実施され、報告書も都度書き直す必要性を生じたが、第三者評価がめざすところを確認できた。
	やすらぎの丘・高取ワークス	H27年1月	
A1-3	福祉サービス第三者評価	H26年7月	ふくてっく第三者評価事業の拡大
			評価調査者の増員は計画通りに進捗。積極的な事業PRと受注拡大および、評価機関体制の強化課題は持越し
A1-4	福祉サービス第三者評価	H26年7月	社会的養護施設
			24～26年度に亘る第1期においては、ACJへの協力参加(同朋学園)以外の取組みはなく終始した。
A2	SCP研究会	H26年7月	サービス・コンティニューイティ・プランニング事業
	医療・福祉事業者		27年1月に活動趣旨を広報したところ、多方面から反響を得た。目標とした研究会の発足は持ち越しとなったが、ゆめ基金が主導してきた災害時BCP研究会にH27年4月以降参加。
	関西広域連合域		
A3	障害者の住環境改善支援	H26年7月	障害者支援団体あるいはその障害当事者が主体となって、障害その他生き苦しさを有する市民の生活環境を整える活動を後方支援する事業
	障害者支援機関		SCP同様に活動趣旨を広報。
	関西広域連合域		初期の目標とした事業分の結成には至っていないが、具体の事例として、東淀川区M邸の改修に取り組む。
A4-1	社会連携①あべの地域連携	随時	阿倍野区内で活動する諸団体(企業まちづくり交流会)の連携
	阿倍野区社協ほか諸団体		活動のとりまとめ的役割を果たしてきた区社協職員の退職もあり、活動は低迷。
	阿倍野区域		
A4-2	社会連携② 真友会	毎月第3月曜	サ高住併設地域サロンを基点とする医療・福祉連携
	淀川区社協ほか諸団体		事業の中核となる医療法人の経営戦略が固まらず、計画は停滞している。区社協や諸団体も参加が遠のいた。
	淀川区域		
A4-3	社会連携③ 宅老連	随時	地域福祉をテーマとする多様な機関・個人の交流と連携
	宅老連参加諸団体		前年度に引き続き、会合参加し、多方面の交流や有意義な研修を通じ、多様な視点(価値観)の導入と協働できる社会資源を求めた。
	概ね大阪府下		
A4-4	社会連携④ NPOセンター		多様な社会資源との連携
			総会(アワード)に参加し、他団体と交流
A4-5	社会連携④ ボラ協		多様な社会資源との連携
			震災をふり返るシンポジウムに参加し、これを契機に入会。

A5-1	福祉事業起業①	随時	既存建物活用型事業所指定支援
	障害者福祉サービス機関		既存建物の調査、安全改修計画並びに「申立書」作成等の業務を担い、健全な事業所開設に向けたコンサルティングを行う。H27年7月に「検査済証のない建物の活用ガイドライン」が公布された後は、行政の対応がにわかになり厳格となる。またGHについての建築基準法・消防法の取扱い基準もめまぐるしく変動して既存建物の活用はハードルが高くなった。そんな中、いくつかの法人の依頼に応じて建物調査を重ねたが、ことごとく不調に終わっている。
A5-2	福祉事業起業②		既存建物活用型事業所開設
	草の根共生会		NPO 草の根共生会の蓮Ⅱにショートステイ事業所を開設するための建物調査～申請・実施設計監理業務委託を受け、山本会員が担当して活動。
A 6-1-1	建物定期検査報告	27年3月	至善荘・福井寮の建物調査（義務受審）に取り組む
A 6-1-2	建物定期検査報告	27年3月	木の実園の建物調査（任意受審）に取り組む 調査結果に基づき改修計画書を報告。事業化につなげる。

B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）

	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
B1-1	7月部会	7/19（土）	25年度活動総括・26年度活動計画の概要
	10名		26年度のコむねっと活動体制を固める。
	大阪市立社会福祉センター		各事業、それぞれの方針確認。 M邸改造計画について意見交換
B1-2	8月部会	8/16（土）	①既存建物改修計画（2件）の検討
	6名		②M邸改修計画検討会
	大阪市立社会福祉センター		③福祉サービス第三者評価ガイドライン改訂内容の確認 ④奈良県手をつなぐ育成会第三者評価の評価吟味
B1-3	9月部会	9/20（土）	福祉サービス第三者評価 評価調査者内部研修①
	6名		評価基準の改定内容の習熟
	大阪市立社会福祉センター		奈良県手をつなぐ育成会第三者評価の評価吟味 NPOムーブメント生活介護事業所整備計画検討
B1-4	10月部会	10/18（土）	なんばおにごっこへの参加
	10名		障害者と地域商店街が協働で開催するイベントに参加し、 障害者の社会活動における地域課題を改めて体現。
B1-5	11月部会	11/15（土）	障害者施設見学会
	10名		障害者活動センター青おに（NPO 中部）＝障害者生活介護 ユイセンター（社福ユイ）＝重心生活介護+放課後等デイ
			障害者施設整備の工夫や課題を共有
B1-6	12月部会	12/20（土）	26年度上半期活動の総括
	6名		①奈良県手をつなぐ育成会の第三者評価集約
	ATC		②今後の第三者評価の進め方検討 ③第3期大阪府地域福祉支援計画（案）の理解
B1-7	1月部会	1/17（土）	福祉サービス第三者評価 評価調査者内部研修②その他
	10名		①M邸改装計画の総括
	大阪市立社会福祉センター		②草の根共生会蓮Ⅱの計画について 法規等の改正関係精査 ③奈良県手をつなぐ育成会評価報告書の最終確認 ④「4本の矢」事業開拓戦略の検討

B1-8	2月部会	2/21 (土)	地活支援活動検討会②その他
	10名		①平成27年からの部会活動の展望「4本の矢」検討
	大阪市立社会福祉センター		
B1-9	3月部会。	/	①草の根共生会「蓮Ⅱ」事業所整備の経過
	部会階差せず、		②NPOムーブメント・NPO虹の会 事業所整備支援活動経過
	メールにて事業報告		③第三者評価活動経過 ④親子共同生活ホームの検討課題について意見交換 ⑤GHに関する建基法、消防法取扱い改訂の動向 ⑥たかとり GH ビレッジ構想の経過
B1-10	4月部会	4/18 (土)	地活支援活動検討会③その他
	8名		①障害福祉サービス事業所整備支援活動経過(3件)
	大阪市立社会福祉センター		②建物定期検査報告活動経過(3事業所、7件) ③SCP(災害時BCP)研究の経過 ④親子共同生活ホームの検討課題について意見交換
B1-11	5月部会	5/16 (土)	活動経過確認
	6名		①奈良県手をつなぐ育成会評価結果報告会の準備
	大阪市立社会福祉センター		②第三者評価事業推進方法の見直し ③SCP(災害時BCP)研究の具体化
B1-12	6月部会	6/20 (土)	映画鑑賞「標的の村」(NPOちゅうぶ主催)
	4名		国政に対抗する市民活動の典型
	東住吉区民センター		市民主体の地域福祉を死守しようとする闘いの現実を確認。 国の安全、市民の福祉、そして政治と市民活動を考える契機。

期中にまとめた研究資料

1. 共同生活援助事業所(GH)にかかる、建築・消防法制の俯瞰資料
2. 障がいを持つ子と親の加齢に伴う、新たな住まい方ニーズに関する意見集約
3. 居住・就労・余暇・支援の包括システム構築を市民活動と企業活動のコラボで推進する企画書

こむねっと事業部会 平成26年度収支報告 (H26/7/1~H27/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収入	支出	収支差額
A-1-1、3~4	福祉サービス第三者評価事業	¥0	¥90,500	▲ 90,500
A-1-2	福祉サービス第三者評価事業 (奈良県手をつなぐ育成会)	¥690,336	¥580,728	109,608
A-2	SCP研究会 (有料会費)	¥0	¥0	0
A-3	障害者の住環境改善支援 (M邸)	¥237,600	¥197,432	40,168
A-4-1	阿倍野地域連携	¥0	¥0	0
A-4-2	真友会 (淀川区地域連携)	¥0	¥0	0
A-4-3	宅老連	¥0	年会費未納 ¥0	0
A-4-4	NPOセンター	¥0	年会費未納 ¥0	0
A-4-5	ボラ協	¥0	年会費未納 ¥0	0
A-5-1-1	ばあとなあ若江東PJ.	¥0	¥0	
A-5-1-2	既存建物活用福祉事業所開設支援	¥194,250	¥146,000	48,250
A-6-1-1	建物定期検査報告 (至善荘・福井寮)	¥351,800	¥79,594	272,206
A-6-1-1	建物定期検査報告・改修計画 (木の実園)	¥37,260	¥22,000	15,260
B-1	こむねっと事業部会総務	¥0	¥8,82	▲ 8,582
合計		¥1,316,996	¥978,836	338,160

今期は、後半に集中した「特殊建築物定期検査報告」により多額の収益が発生し、また今期中の費用出費となるはずの各会費が未納となったこと、部会活動経費の未計上などにより、決算上、大きな収支差額を生じてしまった。

A-5-2 案件別内訳

依頼主・件名	収入（税込）	諸謝金 活動費	旅費交通費印刷費 会議室費等の経費	支出計	剰余金
奈良県手をつなぐ育成会	690,336	497,000	54,000+28,000+1,728	580,728	109,608
木の実園（建物調査）	37,260	22,000		22,000	15,260
M邸（住宅改修）	237,600	128,000	34,000+35,000+432	197,432	40,168
至善荘（建物調査）	280,000	79,000	594	79,594	272,206
福井寮（建物調査）	71,800				
部会経費（研修費）			90,500	90,500	▲ 90,500
部会経費（室料）			8,500	8,500	▲ 8,500
部会経費（その他）			82	82	▲ 82
合計	1,316,996	726,000	252,836	978,836	338,160

4. 20周年記念事業検討委員会（清水会員）

20周年記念事業検討委員会 平成25年度事業報告（H25/7/1～H26/6/30）			
A：事業活動（有償無償に関わらず、外部に対する事業活動）			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
1	ふくてっく20周年記念 事業準備	H26年7/1 ～8/2	H26年8月2日 ATCにおいて20周年記念パーティを実施 詳細はふくてっく新聞87号に掲載

20周年記念事業検討委員会 平成25年度収支報告（H25/7/1～H26/6/30）			
事業名	収入	支出	余剰金
ふくてっく20周年記念事業準備	138,000	234,400	▲ 96,400



20周年記念パーティに参集した面々

2号議案 平成26年度決算報告 (中北事務局長)

活動計算書

平成26年7月1日から平成27年6月30日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	370,000	
通信会員受取会費	1,500	
学生会員受取会費	0	
例会参加受取会費	500	372,000
2. 受取寄付金		25,000
3. 事業収益		
ふくてっくのつどい	27,000	
こむねっと	1,316,996	
東大阪	6,438,240	
20周年記念事業	138,000	7,920,236
4. その他収益		
受取利息	1,317	
雑収入	26,381	27,698
経常収益計		8,344,934
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	13,700	
人件費計	13,700	
(2) その他経費		
材料費	14,190	
諸謝金	5,122,500	
印刷製本費	58,703	
会議費	22,400	
旅費交通費	477,880	
通信運搬費	2,518	
消耗品費	174,130	
租税公課	4,200	
研修費	90,500	
支払手数料	19,440	
雑費	275,100	
その他経費計	6,261,561	
事業費計		6,275,261
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	122,400	
通勤費	29,440	
人件費計	151,840	
(2) その他経費		
諸謝金	66,822	
印刷製本費	4,835	
会議費	104,590	
旅費交通費	3,200	
通信運搬費	60,217	
消耗品費	81,171	
地代家賃	412,260	
減価償却費	1,757	
保険料	39,200	
諸会費	23,500	
租税公課	74,964	
支払手数料	31,126	
その他経費計	903,642	
管理費計		1,055,482
経常費用計		7,330,743
当期正味財産増減額		1,014,191
前期繰越正味財産額		5,626,064
次期繰越正味財産額		6,640,255

貸借対照表

平成27年6月30日 現在

(単位:円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,501,080		
流動資産合計		6,501,080	
2. 固定資産			
什器備品	1,763		
保証金	137,412		
固定資産合計		139,175	
資産の部合計			6,640,255
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	0		
流動負債合計		0	
負債の部合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,626,064	
当期正味財産増減額		1,014,191	
正味財産の部合計			6,640,255
負債・正味財産の部合計			6,640,255

財産目録

平成27年6月30日 現在

(単位:円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	47,572		
三菱東京UFJ銀行梅田支店	5,449,779		
ゆうちょ銀行	917,729		
郵便振替口座	86,000		
流動資産合計		6,501,080	
2. 固定資産			
什器備品	1,763		
保証金	137,412		
固定資産合計		139,175	
資産の部合計			6,640,255
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	0		
流動負債合計		0	
負債の部合計			0
正味財産			6,640,255

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税は税込経理により処理しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

(単位:円)

	ふくてつこのつどい	こむねっと	東大阪	20周年記念	事業費計	管理費	合計
I 経常収益							
1. 受取会費					0	372,000	372,000
2. 受取寄付金					0	25,000	25,000
3. 事業収益	27,000	1,316,996	6,438,240	138,000	7,920,236		7,920,236
4. その他収益					0	27,698	27,698
経常収益計	27,000	1,316,996	6,438,240	138,000	7,920,236	424,698	8,344,934
II 経常費用							
1. 人件費					0		
給料手当	13,700				13,700	122,400	136,100
通勤費					0	29,440	29,440
人件費計	13,700	0	0		13,700	151,840	165,540
2. その他経費							
材料費	14,190				14,190		14,190
諸謝金		726,000	4,396,500		5,122,500	66,822	5,189,322
印刷製本費		28,000	30,703		58,703	4,835	63,538
会議費	2,000	8,500	11,900		22,400	104,590	126,990
旅費交通費		88,000	389,880		477,880	3,200	481,080
通信運搬費	2,000	82	436		2,518	60,217	62,735
消耗品費			174,022	108	174,130	81,171	255,301
地代家賃					0	412,260	412,260
減価償却費					0	1,757	1,757
保険料					0	39,200	39,200
諸会費					0	23,500	23,500
租税公課			4,200		4,200	74,964	79,164
研修費		90,500			90,500		90,500
支払手数料		2,754	16,686		19,440	31,126	50,566
雑費		35,000	700	239,400	275,100		275,100
その他経費計	18,190	978,836	5,025,027	239,508	6,261,561	903,642	7,165,203
経常費用計	31,890	978,836	5,025,027	239,508	6,275,261	1,055,482	7,330,743
当期経常増減額	-4,890	338,160	1,413,213	-101,508	1,644,975	-630,784	1,014,191

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	427,590	0	0	427,590	425,827	1,763
合計	427,590	0	0	427,590	425,827	1,763

パソコン1台、プロジェクター1台

3号議案 監査報告 (秋岡・稲住監事)

4号議案 平成27年度活動計画

1. ふくてっくのつどい (小川会員)

ものづくり活動 平成27年度事業計画 (H27/7/1～H28/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		期待する成果
1	木工工作 あそぼっくる	7/8	院内学級に通う、入院中の小児に工作を通じてものづくりを体験してもらう。簡単な工作で単調な入院生活に少しの楽しみを届ける。
	大阪市立総合医療センター 院内学級		簡単な工作内容しか実施出来ないが、木に絵を描いたり、ボンドを使って木片で動物の置物などを作成し創意工夫してほしい。
2	自由木工教室講習会	27年中	子供達への木工教室を考えている幼稚園の先生方への自由木工教室の開催。
	羽曳野市		先生方に興味を持ってもらい自由木工の実施につなげる。
2	自由親子木工教室	11月上旬	「園児に自然木を使った工作授業をしてあげたい」。可能であれば参観日に親子工作教室ができるよう検討してほしい。(依頼内容)
	幼稚園(羽曳野市)		日ごろ工作をする機会が無い園児たちに自由木工を体験してもらう。
5	池島ふれあいまつり 福祉法人海の子の家	11/23 予定	工具体験と自由木工。
	池島公園		工作の楽しさを実感してもらう。
6	共生・共走レマソン マツサク	5月下旬	障がい児に工作を体験してもらう。
	花博鶴見緑地公園		工作の楽しさを実感してもらう。

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数 場所		期待する成果
1	つどい集会	6回/年 27年度	年間予定確認と活動内容の確認
	各10名参加予定 ボランティア市民活動センター 及びATC事務局		A:事業活動についての協議、新たな試みへの協議をする場
2	里山材料調達	3回/年 27年度	木工活動の材料調達
	各5名参加予定 生駒いいもり山		自然木を調達し、次年度の活動用に一年間山で乾燥、保管。
3	材料加工作業A	4回/年 27年度	木工材料の加工作業
	各8名参加予定 ATC事務局		加工作業(ペーパーかけや仕上げ)の作業。
4	材料加工作業B	2回/年 27年度	木工材料の加工作業
	各5名参加予定 有馬工房		加工作業(穴あけや切断:機械使用)の作業。

ものづくり活動 平成 27 年度収支計画 (H27/7/1～H28/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
A-1	病院木工工作 (6名予定)	7,000	6,000	¥ 1,000
A-2	幼稚園講習 (3名予定)	5,000	4,500	¥ 500
A-3	幼稚園親子木工教室 (10名予定)	20,000	18,000	¥ 2,000
A-4	池島ふれあいまつり (10名予定)	25,000	22,500	¥ 2,500
A-5	共生・共走 (10名予定)	3,000	2,000	¥ 1,000
B-2	里山材料調達	0	4,500 300円×5人×3回	△4,500
B-4	材料加工作業 B	0	3,000	△3,000
合計		60,000	60,500	△500

たいけん活動 H27 年度活動計画 (H27/7/1～H28/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		期待する成果
	場所		
1	収穫体験	2回/年 27年度	会員間交流 (田植え、種植え、収穫体験を通じて)
	各5名参加予定		日ごろ体験できない土いじりと味覚収穫を体験する。
	泉ヶ丘 (林田ファーム)		参加者は協力して作業することで新たな一面を発見することもできる。
2	大人の社会見学	4回/年 27年度	会員間交流 (知識習得を通じて)
	各8名参加予定		ふくてつくの季節の遠足目的に、担当者を決め自由に興味のあるものを紹介し、みんなで遊びにいき交流を深める。

ものしり活動 平成 27 年度活動計画 (H27/7/1～H28/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対する事業活動)			
No.	事業名	日付 期間	活動目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
	場所		
1	院内学級授業	1回/年 27年度	子供たちにいろいろな教養を身に付けてもらう。
	あそぼっくる		小・中学校の授業としてふくてつくの出来る教養的授業を行い、子供たちに興味を持ってもらう。
	大阪市立総合医療センター		
	院内学級		

B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）			
No.	活動名	日付 期間	活動目的・内容等 成果
	参加人数		
	場所		
1	住環境よもやま話	4回/年 27年度	住宅改修のいろいろな話をする場をつくる。
	4月定例会内		実際の改修現場にある「よもやま話」を、改修の注意点やポイントをわかり易く説明する。

ものしり活動 平成27年度収支計画（H27/7/1～H28/6/30）				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
A-1	院内学級授業	¥ 4,000	¥ 3,500	¥ 500
合計		¥ 4,000	¥ 3,500	¥ 500

収支計画には上記のほか、材料費、通信運搬費を前年同様に見込むほか、器材運搬用スーツケース購入費を経費加算する。

キャリーは『押す』時代。楽に押せる「ラクオシ」。



2. 東大阪部会 (清水会員)

東大阪部会は、東大阪の委託事業として始まった適性検証事業も10年目にはいり、また、尼崎市への支援事業も4年目を迎えました。当初より問題提起やその克服提案を繰り返し、少しずつではありますが、その成果も確認する事ができています。今年度も継続して事業を展開し、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。

新たな取組として、障がい者の自立および施設からの地域移行を支援し、地域福祉を推進するために、東大阪市の障がい者支援事業所と協働して障がい者共同生活援助ホームの住環境調査を実施します。

東大阪部会 平成27年度事業計画 (H27/7/1～H27/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	H27年 7/1～ H28年 6/30	目的：高齢者・障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。
	東大阪市		質の良い住環境改善と、高齢者・障がい者の在宅生活の継続。
	東大阪市内		
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	H27年 7/1～ H28年 6/30	目的：対象者の自立支援や事故防止、住宅改修の質的向上と、不適切な介護保険適用を抑制する。
	東大阪市		介護支援専門員の質的向上、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。
	東大阪市内		
3	尼崎市介護保険住宅改修支援事業	H27年度 後半予定	目的：健全な制度利用と介護支援専門員の資質向上への支援、行政及び地域包括支援センターとの協働体制の確立。
	尼崎市		介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。
	尼崎市内		
4	東大阪市障がい者共同生活援助ホーム住環境調査	H27年 8/1～ H28年 3/末	目的：現行の東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度から漏れた、障がい者の住環境困窮課題を明らかにし、本制度の再構築に結びつける。
	東大阪市共同生活援助ホーム事業者		障がい者支援事業所との協働取組の実現。 障がい者が主体的に住まい方を選択して、地域での自立生活を豊かに広げていける生活基盤を創りに結びつく。
	東大阪市内		
5	ワンポイントアドバイス冊子発行	H27年 9月以降 予定	東大阪市内に所属する介護支援専門員を支援するために、住宅改修アドバイス集を作成する。500部発行
			介護支援専門員が積極的に住宅改修等に関わり、適切な計画のもと、高齢者や障がい者が安全で安心した暮らしを実現する。

個々の住環境改善を超えた、地域での自立生活を豊かに広げてゆくための生活基盤改善が目標です。

東大阪部会 平成 27 年度活動計画 (H27/7/1～H28/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	定例部会(月1回開催)	H27年 7月～第3 土曜 12回	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討
	検証メンバー		チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、 高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する。
	大阪市立社会福祉センター・ ATC ふくてっく事務局他		

東大阪部会 平成 27 年度予算計画 (H27/7/1～H28/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収入	支出	余剰金
A-1	東大阪市高齢者・重度障害者住宅改造費助成制度適正検証事業/	3,434,400	2,430,000	1,004,400
			諸謝金 2,120,000 旅費交通費 220,000 消耗品 90,000	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	3,365,600	2,280,000	1,085,600
			諸謝金 1,900,000 旅費交通費 290,000 消耗品 90,000	
A-3	尼崎市介護保険住宅改修支援事業	130,000	180,000	△50,000
			諸謝金 150,000 旅費交通費 20,000 消耗品 10,000	
A-4	東大阪市障がい者共同生活援助ホーム住環境調査	0	950,000	△950,000
			諸謝金 700,000 旅費交通費 100,000 通信費 50,000 消耗品費 100,000	
A-5	ワンポイントアドバイス	0	160,000	△160,000
			諸謝金 100,000 旅費交通費 30,000 消耗品費 30,000	
合計		6,930,000	6,000,000	930,000
			諸謝金 4,970,000 旅費交通費 660,000 消耗品 320,000 通信費 50,000	

13.4%

収支計画には、上記のほか印刷製本費、会議費、租税公課を経費加算する。

3. こむねっと事業部会 (中北会員)

こむねっと事業部 平成27年度事業計画 (H27/7/1～H28/6/30)

こむねっと事業部会は平成27年1月に「4つの矢」構想を打ち出して、それまでの多岐に亘る事業の統合整理を行いました。

「地域福祉の推進」を基本テーマとして、それらの活動ミッションを位置づけ、相互に重ね合いながら (OVERLAPPING PORTION)、発展させて行きます。

A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
	場所		
A1-1	福祉サービス第三者評価①	H27年7月 ～	大阪府地域福祉推進審議会 福祉サービス第三者評価分科会
	大阪府庁ほか		引き続き、大阪府の第三者評価事業振興に寄与 評価基準の見直し・評価の広域化などシステムの改善を通じて、第三者評価事業の振興に向けて活動する。 分科会の正副会長が退任し、今後の方向性は未定ながら さればこそ、評価機関・評価調査者の立場から発言を強めて行きます。
A1-2	福祉サービス第三者評価②	H27年7月 ～	評価機関連絡会
	評価機関連絡会		上記のとおり、分科会委員構成変更の中、引き続き連絡会代表 幹事を務めて、評価機関の情報共有と意思疎通を図って大阪の 第三者評価事業の拡大発展を進める。 かねて懸案の評価機関協働プロジェクトの発足にもいよいよ 着手する。
A1-3	福祉サービス第三者評価③	H27年7月 ～	ふくてつく第三者評価事業の拡大発展
	評価機関体制整備		評価活動の迅速化、合理化を目標として、評価調査者の補充、 および評価技術の向上、評価態勢の整備を行う。 また各種書式も整えて、活動PRにも積極的に取り組んで、 受注拡大に努める。 第三者評価事業を採算部門に転換して、こむねっと事業部活動 の核とする。
A1-4	福祉サービス第三者評価④	H27年7月 ～	具体(複数)の評価活動を実施する
	実務遂行		1. 奈良県手をつなぐ育成会の評価 PartⅢの実施 前2回の取組みと、その間の法人改革を総括して、新たな 視点で評価に取り組む。 2. 27年春から取り組んできた活動PRの反応を結実して、 複数の受審委託を獲得して取り組む。 候補：いわき学園、草の根共生会、ちゅうぶ
			3. 26年度末で一旦機関登録が途絶えた社会的養護施設の 評価機関登録を再度実施し、第2期3か年(27～29年度)中 の受注を目指す。

A2-1	SCP研究会①	H27年7月～	災害時BCP
	ゆめ風基金、 ばあていばあてい他		ゆめ風基金主導の「災害時障害サービスBCP研究会」に参加して 具体の事業所のBCP立案に携わる。
	関西広域連合域		11/22に開催予定の東北・関西ポジティブ文化交流祭の前夜祭 シンポジウムにて中間報告の予定。
A2-2	SCP研究会②	H27年7月～	Service Continuity Planning
	医療・福祉事業者		前項の活動成果も踏まえて今期末までに懸案の研究会を立ち 上げ、診断活動の有料化に取り組む。
	関西広域連合域		

A3-1	医療・福祉事業環境整備	H27年7月～	特殊建築物定期検査報告
			リピート受審事業所の定期検査の継続に加え、新たな受注の開 拓を進める。
A3-2	医療・福祉事業環境整備	H27年7月～	施設保全の中長期計画コンサルティング
			前項の活動から発展的に、活動の昇華を図る。

A4-1	地活支援①	H27年7月～	福祉サービス事業所開設支援（既存建物活用）
			既存社会資源を活用して福祉事業を有意義に拡大することにつ いて、当会メンバーの専門的資質を活かして、これを支援す る。この取り組みを契機に、同種の業務を事業部の常設活動と して、メンバーの研鑽機会を創設するとともに、 こむねっと事業部の収益エンジンとする。 同じ目標を掲げる他の活動家や有識者との連携を深める。 （大阪府建築士会主催のセミナーに参画する）
A4-2	地活支援②	H27年7月～	障害者の地域生活基盤整備（地域居住スタイル研究）
			心身に障害を持ちながら、地域で自立生活をめざす障がい者や その支援者に協力して、地域生活基盤の整備に取り組む。 対象は一人住まい住居に限らず、GHを含む、新たな集住形態の 追及も念頭において、新たな価値観の追及の上に立って、社会 制度改革にも提言する。
A4-3	地活支援③	H27年7月～	医療と連携する地域福祉拠点整備プロジェクト
			医療・福祉連携、市民・企業・行政連携・様々な意味において セクションを横断する画期的事業の起業を目指す。
A4-4	地活支援④	H27年7月～	地域生活環境整備支援に資する各種研修会参加事業
			事業部の活動主旨に沿った意義ある研修会に積極参加し、地域 福祉環境の向上に向けた活動に欠かせない知見の吸収に努め るとともに、その機会を捉えて人的ネットワークの拡大を図 る。 研修の成果を、こむねっと事業部学習会またはふくてつく学習 会にフォードバックしてメンバーの共有を図る。 具体的には、宅老連、NPOセンター、ボラ協の各種企画に参加 するとともに、その発信情報を吸収する。
A4-5	地活支援⑤	H26年7月～	前述のほか、連携各機関・法人等とのネットワーク強化
			多くの機関・法人との交流を深め、人的ネットワークを厚くす ることによって、事業部の活動を推進する。 Ex：社会福祉法人奈良県手をつなぐ育成会 NPOちゅうぶ NPO草の根共生会 NPOばあとなあ その他

B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）

	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
B1-1	7月部会	7/18（土）	福祉サービス第三者評価事業の展望
	8名		①改訂基準の理解 ②新体制の検討
	大阪市立社会福祉センター		報告事項：①事業所整備支援（4件）②SCP ③花園ラグビー場のバリアフリー改修へのアドバイス
B1-2	8月部会	8/15（土） 午後	福祉サービス第三者評価 新ガイドラインの研究と理解①
	大阪市立社会福祉センター		①奈良県手をつなぐ育成会の過去の評価記録を 改訂された共通45項目で見直すことによる詳細理解 今秋以降に取り組む同会の第3期評価活動の構想検討 ②評価調査票、自己評価票、アンケート調査票、契約書等の 書式整備
B1-3	9月部会	9/19（土） 午後	福祉サービス第三者評価 新ガイドラインの研究と理解②
	大阪市立社会福祉センター		①前月に引き続き、障がい入所施設の内容評価基準（26項目） 推奨評価基準（8項目）について、 奈良県手をつなぐ育成会への適用を通じて詳細を理解 ②自己評価票・アンケート調査票の形式・内容を確認 育成会へ自己評価票・アンケート調査票を送付
B1-4	10月部会	10/17（土） 午後	福祉サービス第三者評価 新ガイドラインの研究と理解③
			①前2回に引き続き、障がい授産施設、高齢者入所・通所 及び居宅系サービス、保育所の内容評価基準、推奨評価基準 を確認 ②奈良県手をつなぐ育成会の自己評価、アンケート調査結果の 読み込み。
B1-5	11月例会学習会	11/7（土）	（内容未定）
B1-6	11月部会	11/21（土）	SCP研究
			災害時障がいサービスBCP検討の中間報告（11/22）の内容について
B1-7	12月部会	12/19（土）	27年度上半期活動の総括
			上半期をふり返って計画の進捗状況をチェック
B1-8	1月部会	1/16（土）	
B1-9	2月部会	2/20（土）	
B1-10	3月部会	3/20（土）	
B1-11	4月部会	4/17（土）	障がい福祉と地域共生施設見学会
			西宮地域共生会館「ふれぼの」

B 1-14	5月部会	5/15 (土)	
B 1-15	6月部会	6/19 (土)	27年度活動の総括と28年度活動計画

※部会は毎月第3土曜日の開催を基本とし、27年4月に障がい者施設見学会を企画しています。

なお、上記の予定は、活動状況の推移にあわせて適宜に変更することがあります。

こむねつと事業部会 平成27年度収支計画 (H27/7/1~H28/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入 (下段前年実績)	支出	収支差額	
A-1-1	福祉サービス第三者評価① (地域福祉審議会)	¥0		¥0	0
A-1-2	福祉サービス第三者評価② (評価機関連絡会)	¥0	交通費・資料準備 (年3回)	¥15,000	▲15,000
A-1-3-1	福祉サービス第三者評価② (評価機関体制整備)	¥0	検討会議参加者 交通費・経費等	¥50,000	▲50,000
A-1-3-2	福祉サービス第三者評価② (評価調査者養成・継続)	¥0	昨年実績の2倍	¥70,000	▲70,000
A-1-4-1	福祉サービス第三者評価④ (奈良県手をつなぐ育成会)	¥300,000 (690,000)	活動費その他軽費	¥250,000	50,000
A-1-4-2	福祉サービス第三者評価④ (新規受審)	¥600,000 (0)		¥500,000	100,000
A-2-1	SCP研究会① (ゆめ風協働)	¥0	活動参加費 (10回)	¥50,000	▲50,000
A-2-2	SCP研究会② (独自事業)	¥0		¥0	0
A-3-1	医療・福祉事業環境整備	¥80,000 (351,800)		¥40,000	40,000
A-3-2	医療・福祉事業環境整備	¥100,000 (22,000)		¥50,000	50,000
A-4-1-1	地活支援① (草の根共生会 蓮II設計監理)	¥50,000		¥0	50,000
A-4-1-2	地活支援① (その他の既存建物活用) 3件	¥150,000		¥0	150,000
A-4-2	地活支援② (障がい者の地域生活基盤整備)	¥0		¥0	0
A-4-3	地活支援③ (医療連携)	¥0		¥0	0
A-4-4	地活支援④ (地域生活支援セミナー参加)	¥0		¥0	0
A-4-5	地活支援⑤ (ネットワーク構築)	¥0	交通費・諸経費	¥30,000	▲30,000
B-1-1 ~1-15	部会活動	¥0	室料、経費	¥20,000	▲20,000
部会経費			資料印刷費ほか	¥50,000	▲50,000
			書籍・備品購入	¥50,000	▲50,000
合計		¥1,280,000 (1,316,996)		¥1,175,000 (978,836)	105,000 (338,160)

以上の経費は26年度収支報告書の勘定科目に適宜配分する。

5号議案 平成27年度 活動予算計画

平成27年度 収支計画書

(税込・単位:円)

特定非営利活動法人 ふくてつく

	前年度実績	27年度収支計画	差額	備考
【経常収益】				
【受取会費】				
正会員受取会費	370,000	370,000	0	
通信会員受取会費	1,500	1,500	0	
靈感参加受取会費	500	500	0	
【受取寄附金】				
受取寄附金	25,000	25,000	0	
【事業収益】	7,920,236	8,274,000	△ 353,764	
ふくてつくのつどい	27,000	64,000		
東大阪部会	6,438,240	6,930,000		
こむねつと事業部会	1,316,996	1,280,000		
20周年記念事業	138,000	0		
【その他収益】				
受取利息	1,053	1,100	△ 47	
雑収益	26,381	25,000	1,381	
経常収益 計	8,344,670	8,697,100	△ 352,430	
【経常費用】				
【事業費】				
(人権費)				
給料 手当(事業)	13,700	64,000	△ 50,300	
ふくてつくの集い	13,700	64,000		
人件費 計	13,700	64,000	△ 50,300	
(その他軽費)				
材料費	14,190	15,000	△ 810	
つどい	14,190	15,000		前年同額計上
諸謝金	5,122,500	5,791,900	△ 669,400	
東大阪部会	4,396,500	4,970,000		
こむねつと事業部会	726,000	821,900		
印刷製本費(事業)	58,703	81,000	△ 22,297	
東大阪部会	30,703	31,000		前年同額計上
こむねつと事業部会	28,000	50,000		
会議費	22,400	22,000	400	
つどい	2,000			
東大阪部会	11,900	12,000		前年同額計上
こむねつと事業部会	8,500	10,000		
旅費交通費(事業)	477,880	760,000	△ 282,120	
東大阪部会	389,880	660,000		
こむねつと事業部会	88,000	100,000		
通信運搬費	2,518	52,100	△ 49,582	
つどい	2,000	2,000		前年同額計上
東大阪部会	436	50,000		
こむねつと事業部会	82	100		
消耗品費	174,130	320,000	△ 145,870	
東大阪部会	174,022	320,000		
20周年記念事業	108			
租税公課(事業)	4,200	4,200	0	
東大阪部会	4,200	4,200		前年同額計上
研修費	90,500	70,000	20,500	
こむねつと事業部会	90,500	70,000		
支払手数料	19,440	3,000	16,440	
東大阪部会	16,686			謝金に含む
こむねつと事業部会	2,754	3,000		

雑費	275,100	50,000	225,100	
つどい			18,000	スーツケース代
東大阪部会	700			
こむねつと事業部会	35,000		50,000	
20周年記念事業	234,400			
イベント・その他	5,000			
その他軽費 計	6,261,561	7,169,200	△ 907,639	
事業費 計	6,275,261	7,233,200	△ 957,939	
【管理費】				
(人権費)				
給料 手当(事業)	122,400	122,400	0	前年同額計上
通勤費	29,440	29,440	0	前年同額計上
人件費 計	151,840	151,840	0	
(その他軽費)				
印刷製本費	4,835	5,000	△ 165	前年同額計上
諸謝金	66,822	66,900	△ 78	前年同額計上
会議費	104,590	105,000	△ 410	前年同額計上
旅費交通費	3,200	3,200	0	前年同額計上
通信運搬費	60,217	61,000	△ 783	前年同額計上
消耗品費	81,171	82,000	△ 829	前年同額計上
地代家賃	412,260	412,260	0	前年同額計上
保険料	39,200	80,000	△ 40,800	増額
諸会費	23,500	23,500	0	前年同額計上
租税公課	74,700	75,000	△ 300	前年同額計上
支払手数料	31,126	32,000	△ 874	前年同額計上
雑費		40,000	△ 40,000	掃除機購入
その他軽費 計	901,621	985,860	△ 84,239	
管理費 計	1,053,481	1,137,700	△ 84,239	
経常費用 計	7,328,722	8,370,900	△ 1,042,178	
当期経常増減額	1,015,948	328,200	689,748	
経理区分振替額	0	0		
当期正味財産増減額	1,015,948	328,200	689,748	
前期繰越賞味財産額	5,626,064	6,642,012	△ 1,015,948	
次期繰越賞味財産額	6,642,012	6,968,212	△ 326,200	

比較的安定した収支が見込める「東大阪部会」と対照的に不確定要素が大きい「こむねつと事業部」、活動発展が楽しみな「つどい」の状況により、変動が予想されますが、それでも堅実な収支計画を組むことができました。

恐れず、積極的な運営が期待されます。

6号議案 役員改選の件

※参考 NPO ふくてっく定款（抜粋）

第12条 役員は、総会において正会員の中から選任する。

2. 監事は、理事又はこの法人の職員を兼任する事はできない。
3. 理事の中からその互選によって、次の役員を選任する。
 - ① 理事長 1名
 - ② 副理事長 1名以上2名以内
4. 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び三親等以内の親族が役員総数の3分の1を超えて含まれる事にならない。

第13条 理事長は、この法人を代表し、その業務を統括する。

理事長以外の理事は、法人の業務について、この法人を代表しない。

2. 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故ある時、又は理事長が欠けた時は、理事長が予め指名した順序により、その職務を代行する。
3. 理事は理事会の構成員として、法令・定款及び総会の議決に基づき、この法人の業務の執行を決定する。

第14条 監事は次の職務を行うものとし、その執行にあたって必要なときは、いつでも理事会に対して報告を求め、調査する事ができる。

- ① 理事の業務執行の状況を監査すること。
- ② この法人の財産の状況を監査すること。
- ③ 前2号の規定による監査の結果、この法人業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した時は、これを総会又は所轄庁に報告すること。
- ④ 前号の報告をするために必要あるときは、理事長に対して総会の招集を請求すること。
その請求後2週間以内に招集手続きがされない時は、自ら招集すること。
- ⑤ 1号、2号の点について理事に個別に意見を述べ、必要により理事会の招集を求めること。

第15条 役員の任期は2年とする。再任を妨げないが、原則として任期終了時に、役員の3分の1程度を改選するものとする。

2. 補充又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残余期間とする。
3. 役員は、辞任又は任期の末日において、後任の役員が選出されていない時は、その任期を任期の末日後最初の総会が終結するまで伸長する。
4. 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けた時は、遅滞なくこれを補充しなければならない。

26年度までの役員

理事	◎小川忠雄	○清水麗子	○中北清	
	杉浦史郎	曾我部千鶴子	岡道信	以上6名
		※ ◎は理事長	○は副理事長	
監事	秋岡安	稲住泰広		以上2名

27年度から28年度の役員の改選にかかる理事会の決定事項（2～3名の理事を増員したい）
退任する理事・監事

重任する理事・監事

新任の理事・監事として推薦する候補